

# 2018 伝統建築文化推進協議会 研究集会



亀若大橋より最上小国川を望む（山形県最上町瀬見温泉）

今年には伝統構法がサステナブルであるための課題を探ります。  
まずは伝統和風の世界にモダニズムを吹き込んだ建築家吉田五十八等に  
重用された水澤工務店の棟梁に精度高い木造の苦勞を伺います。

一方で伝統木造そのものが歴史を継承するために修理され続けねばなりません。  
工業化社会の日本での保存修理のための現場での苦勞を伺います。

最後に歴史を活かした伝統の継承に欠かせない木材そのもの  
のが今、山を含めどうなりつつあるかご存知でしょうか。  
日本の林業の行く末は果たしてどうなるのでしょうか。  
木造名古屋城や伊勢神宮に材木を納める南木曽木材産業の社長から話を伺います。

その後は、出席者のみなさんと共に座談会形式の気軽な情報交換会です。  
ここでしか、聞けない話が盛沢山。  
ふるってご参加ください。

## 研究集会

1. 日 程 平成30年（2018）7月21日(土)
2. 場 所 日本建築学会 建築会館 304号会議室  
東京都港区芝5-26-20 tel：03-3456-2016（日本建築学会会館）  
当日問い合わせ・連絡：080-3757-4321（田代）まで。
3. 最寄駅 JR田町駅、都営三田駅（浅草線・三田線）徒歩3分
4. 時間割 研究集会テーマ『～文化財生産現場の問題～ 伝統工法の継承のために』  
13:45～14:00 会長挨拶及び昨年度成果報告、研究会趣旨説明  
14:05～14:35 講演1(久保田 豊、水澤工務店棟梁)  
**現代に生きる伝統的大工棟梁の苦勞**  
14:40～15:40 講演2(佐藤 武王、文化財建造物保存技術協会事業部設計室設計課課長代理)  
**最近の文化財建造物の修理について**  
(10分休憩)  
15:50～17:20 事例報告(柴原 薫、南木曾木材産業代表取締役)  
**自然・山・林業、現状の報告・課題**  
17:00～18:00 質疑応答・座談会  
司会 (山中 保博 会員、JIA・神奈川県ヘリテージマネージャー)  
18:20～20:00 別会場 **懇親会** (有志、会費別途)

5. 参加費 会員：無料、会員外：1,000円
6. 問合先 伝統建築文化推進協議会（略称 伝建協会）

FAX 050-3077-2463

携帯 080-3757-4321(担当:田代)

e-mail [anno-tempeste@anno-spero.org](mailto:anno-tempeste@anno-spero.org)

URL <http://www.anno-spero.org/renaissance/dentou/>



## 会員募集中

詳しくは上記e-mailまで。

正会員年会費3,000円、賛助会員年会費30,000円